

私は、公明党議員団を代表し、議案第8号平成21年度武豊町一般会計予算について、原案に賛成の立場から討論をさせていただきます。

代表質問の折、世界的な景気後退の波が、我がまちの地域経済に、どのように押し寄せ、どう影響を及ぼしていくかを認識され、今こそ、未曾有の経済不況に立ち向かう、強き町長のリーダーシップが望まれるところであり、と同時に実行力とスピードも必要だとお訴えをさせていただきました。

そのうえで、町長は、まちづくりを進めていくためには、何よりも長期的な視点にたった計画的な事業展開が必要であり、また、行政の施策のレベルが年度間で大きく変動することは、住民生活や地域社会の活動に混乱を招くので、できる限り継続性を保つことが大切であり、今回の、いわば例外的な経済状況下においては、いたずらに萎縮をすることなく、当面は、財源不足の手当てを図り、計画通りに事業推進を図ることが望ましいと判断をしたところであると。

その結果、21年度予算は、過去2番目の大型予算となったとおっしゃいました。

最重点事業は、言うまでもなく、学校・保育園の耐震化の促進であるとし、武豊中学校の耐震改築工事と、緑丘小学校および、東大高保育園の耐震補強工事が計上されています。

また、残る全ての施設についても、耐震対策に着手し、実施設計委託として、六貫山保育園を始め、武豊小学校南館、衣浦小学校南館、富貴小学校南館及び北東館、富貴中学校南館および北館を予定するほか、富貴小学校体育館の耐力度調査も委託、そのほか、総合体育館のガラス落下防止工事と耐震防火水槽の新設も予定し公共施設の耐震対策事業費は、10億円を超える規模となっています。

そのほかにも、学校・保育園、役場および消防武豊支所への緊急地震速報システムの整備、地震防災ガイドブックの全戸配布、そして、民間木造住宅の耐震改修補助金の引き上げなど、ハード、ソフトの両面での対策費用が計上されています。

また、暮らしやすいまちづくりとして、町内巡回バスの、22年度の実証運行を目指して、地域公共交通総合連携計画の策定委託料と地域公共交通会議の補助金が計上されています。

また、地球温暖化対策の一環として、住宅用太陽光発電システムを設置する場合の補助。多賀授産所での新しい授産活動の場としての六つ蔵せんべいの製造施設の整備費も計上。

また、各地区からの要望事項に対応するため、ふるさと巡回点検事業費、中小企業者の経営を支援するため、緊急保証制度に係る信用保証料の補助金も計上され、JR武豊駅前には、2階建の駐輪上を整備、そして、21年度は、町政

55周年であり、記念行事も予算化されています。

厳しい財政状況のなか、真に必要な施策に優先的、かつ重点的に配分されており、町長のただならぬ思いが感じられる予算編成であると思います。

先行き不透明な、経済状況のなか、これからも課題は多くあるかと思いますが、希望あふれるまちづくりのため、私たち公明党議員団も一生懸命努めてまいりますので、町におかれましても、さらなるご努力、ご尽力を賜りますことをお願いし、賛成討論といたします。